



食育だより 1月号

平成31年1月17日

佐世保市立早岐中学校学校

栄養教諭 末永由紀子

みなさんはどんな正月を過ごしましたか？ 正月は、おせち料理や雑煮などのおいしい行事食がたくさんあります。食べすぎてしまったり、生活リズムが乱れてしまったりしがちです。

まだまだ寒い日が続く、布団からなかなか出られなくなる季節ですが、早起きと早寝を心がけ、運動不足を解消して食生活を見直しましょう。

1月24日～30日は全国学校給食週間です。

学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の忠愛小学校で貧困児童を対象に行われたのが始まりです。

戦争のために中断されていましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことから、その必要性が叫ばれるようになり、再開することになりました。

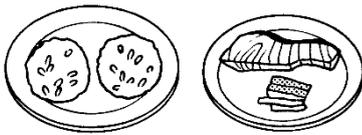
まず試験的に、昭和21年12月24日に、三都県（東京、神奈川、千葉）で実施することになり、同日に東京都内の小学校でラウ（アメリカの宗教団体等からなるアジア救援公認団体）からの給食用物資の贈呈式が行われました。その日を学校給食感謝の日と定めていましたが、その後、冬季休業と重ならない1月24日から30日までの間を「学校給食週間」としました。



学校給食の歴史

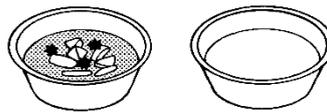


明治22年



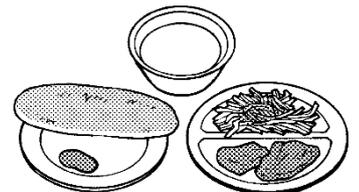
おにぎり 塩ざけ 菜の漬物

昭和20年



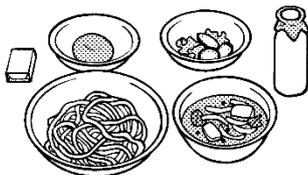
ミルク（脱脂粉乳） みそ汁

昭和27年



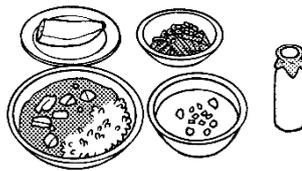
コッペパン ミルク（脱脂粉乳） 鯨肉の竜田揚げ せんきゃべツ ジャム

昭和40年



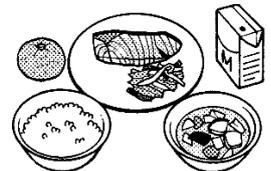
ソフトめんのカレーあんかけ 牛乳 甘酢あえ 果物（黄桃） チーズ

昭和52年



カレーライス 牛乳 塩もみ 果物（バナナ） スープ

今の給食



地場産物を活用したさまざまな献立がつけられています。